



2024年7月16日

各位

会社名 東海カーボン株式会社
代表者名 代表取締役社長 長坂 一
(コード番号: 5301 東証プライム)
問合せ先 経営企画部管掌 佐藤 昭彦
(TEL. 050-1702-4901)

黒鉛電極生産体制の再構築について

当社は、本日開催の取締役会において、電極事業の構造改革の一環として、2025年7月までに、日本と欧州の黒鉛電極生産能力を、年間56千トンから同32千トンに削減すること、生産能力削減に向け、国内黒鉛電極生産を防府工場（山口県防府市）に集約し、滋賀工場（滋賀県近江八幡市）での生産を2025年7月末までに終了することを決議しましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 黒鉛電極生産体制再構築の背景と目的

当社黒鉛電極事業は、滋賀工場、防府工場の国内2拠点に、欧州(TOKAI ERFTCARBON GmbH)、北米(TOKAI CARBON GE LLC)を加えた世界3極体制で事業を拡大してまいりましたが、世界的な鉄鋼生産低迷で電極需要が減少していることに加え、日本を含むアジア・欧州・中東市場においては、中国・インド勢による低価格製品の流入によって市況が大幅に軟化し、構造不況状態となっております。

こうしたなか、今後とも、お客様に安定的に製品を供給するためには、日欧生産能力削減が不可避との判断に至りました。これに向けて、本邦においては、防府工場に生産を集約し、2025年7月までに、滋賀工場の生産を終了いたします。

当社は、2024年2月に公表した3ヵ年中期経営計画「T-2026」におきまして、「主力事業の収益基盤の強化」を基本方針とし、黒鉛電極事業の構造改革の推進を掲げております。黒鉛電極事業は、カーボンニュートラルの潮流のなか、2030年に向けて、大口径品を中心に、世界的にも大きな需要が創出される見通しです。今回の生産体制再構築により、抜本的な構造改革を実現し、競争優位性を高め、北米、アジア、欧州市場における大口径品や高品質な黒鉛電極の需要に対応してまいります。

2. 黒鉛電極生産体制再構築の概要

(1) 国内

滋賀工場の生産を終了(2025年7月末予定)、防府工場に生産を集約し、日本国内の黒鉛電極生産能力を約50%削減、出荷能力は年間26,000tから年間12,000t体制とします。

(2) 欧州(TOKAI ERFTCARBON GmbH, Germany)

国内拠点の生産集約に合わせて、欧州拠点の黒鉛電極生産能力を約30%削減し、年間30,000tから年間20,000t体制とします(2025年7月末予定)。

(3) 北米(TOKAI CARBON GE LLC, USA)

北米拠点においては、生産能力の変更はございません(年間40,000t体制)。

3. 滋賀工場従業員について

現在、滋賀工場に勤務する従業員については、当社国内拠点への配置転換等を通して、雇用の確保に努めてまいります。

4. 滋賀工場の概要

- (1) 名 称：滋賀工場
- (2) 所在地：滋賀県近江八幡市長光寺町 705 番地
- (3) 生産品目：人造黒鉛電極
- (4) 従業員数：65 名
- (5) 生産能力：12,000 t /年

5. TOKAI ERFTCARBON GmbH の概要

- (1) 名 称：TOKAI ERFTCARBON GmbH
- (2) 所在地：Aluminiumstrasse 4, 41515 Grevenbroich, Germany
- (3) 生産品目：人造黒鉛電極
- (4) 従業員数：200 名
- (5) 生産能力：30,000 t /年

6. 今後の見通し

本件が、2024 年 12 月期の連結決算に与える影響につきましては、現在、精査中であり、今後、開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上